

飼料問題懇談会の概要

- 1 日時 平成15年3月17日（月）13時半から16時まで
- 2 場所 農林水産省総合食料局第一会議室
- 3 出席者 委員13名が出席（委員欠席1名、代理出席2名）

4 議事概要

「今後の飼料政策の展開方向に関する実行プログラム（工程表）の措置状況」（案）、
「平成15年度飼料需給計画」（案）（以下「需給計画」）等を説明した後、意見交換を行った（主な意見は以下のとおり。）。なお、需給計画については、懇談会において了承された。

- ・ 今後、飼料政策を推進するにあたり、施策の目標像を描いた上で、現状がそれとどのくらい乖離があるか検証すべき。
- ・ 持続可能な畜産について、全体像が見えるように、具体的なイメージを示すべき。
- ・ 今後、飼料政策を推進するにあたり、国の予算措置が効果的に使われるようコンダクターとしての役割を果たすべきではないか。
- ・ 今後、農林水産省の組織再編により、飼料課も組織が再編されるが、畜産の基礎である飼料政策が後退しないよう留意すべき。
- ・ 輸入粗飼料についても使用する畜産農家のリスクを軽減するため、配合飼料の輸入原料と同じく品質に関する基準等の必要性を検討すべき。
- ・ 畜産農家の構造改革を推進するにあたり、安全・安心な自給粗飼料の生産の在り方を考えるべき。
- ・ 日本型放牧の政策を推進するにあたり、数多くの優良事例があることから、PR等を積極的に行うべき。
- ・ 飼料の需給安定のあり方について、検証を行うべきではないか。
- ・ 備蓄飼料穀物の弾力的な買替えに関し、競争原理の導入を図るべきではないか。

問い合わせ先
農林水産省生産局畜産部飼料課
総務班 矢花、久野
tel 03-3502-8111（内線 3998、4002）
直通 03-3501-3778

飼料問題懇談会議事次第

平成15年3月17日(月)

13:30～16:00

農林水産省総合食料局第一特別会議室

- 1 開 会
- 2 部 長 挨 拶
- 3 議 事
 - (1) 資 料 説 明
 - (2) 討 議
- 4 閉 会

飼料問題懇談会委員名簿

氏名	役職
青沼 明德	全国酪農業協同組合連合会 代表理事専務
阿部 亮	日本大学生物資源科学部 教授
犬伏 由利子	消費科学連合会 副会長
岩田 三代	株式会社日本経済新聞社 生活情報部長
大野 健三	全国農業協同組合連合会 常務理事
川島 政喜	協同組合日本飼料工業会 会長
生源寺 眞一	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
須田 洵	社団法人配合飼料供給安定機構 理事長
高木 勇樹	株式会社農林中金総合研究所 理事長
續 省三	日本草地畜産種子協会理事長
内藤 廣信	社団法人中央畜産会 常務理事
中村 祐三	全国農業協同組合中央会 常務理事
山角 誠	飼料輸出入協議会 理事長
吉田 勝也	全国畜産課長会 会長

氏名は、アイウエオ順。

平成15年2月末現在